

令和6年度 つくば国際大学東風高等学校自己評価表

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度への主な課題
情報科	1 パソコン室のシステムの理解 (生徒・教員)と安定的な運用。	主に、google アカウントの管理・作成、パソコンやプリンタの保守管理。 パソコンの更新 (windows11 への移行) についても事務と連携し実施できるようにする。	B	B	パソコンが新しくなり、特定の教材 DVD が一斉送信できないなど、まだまだ不具合があるため、安定運用できるよう業者との連携を続けていく。
	2 高校卒業後に困らないような基本的な技術の習得	タブレットは操作できるが、パソコンになれていない生徒が多く、進学や就職時に困る生徒が多い。情報科では、タブレットではなく、パソコンを使うことを中心にする。また、プログラミングについての指導を増やしていく (Python)。	B		2 年次にプログラミングの指導計画通り出来なかった。3 年次の指導で補う。 3 年生は新課程の指導内容に対応することに集中してしまい、卒業後を見据えた google アプリの活用に関心を割けなかったため、改善をしていきたい。
	3 情報モラルの向上	SNS に関するトラブル指導、著作権など法律に関わる指導は高校卒業後にも関わっていくため、2 年 3 年どちらでも繰り返して指導する。	A		モラル指導については、2.3 年どちらでも授業をした。トラブルや詐欺被害など年々内容が変わるため、今後もこの対応を続けたい。